

## 平成 26 年度 神戸市水道事業主要施策

## 1 災害・事故時対応力の強化

## (1)災害・事故直後における水源の確保

- ①応急給水拠点（緊急貯留システム）の再整備、地域団体との連携  
 ②大容量送水管の整備 平成 26 年度実績：奥平野工区整備・鋼管工事等

## (2)施設の耐震化

- ①配水管の耐震化 24.6km（耐震化率 35.2%）  
 ②「いつでもじゃぐち」の整備 3か所設置（計 36か所に整備済）  
 ③地域団体との防災訓練等の実施 44回

## 2 水・インフラ整備に関する国際貢献の新たな取り組み

海外展開を志向する地元企業等からの支援要請等に基づき、一連の水循環システム・都市整備など、本市が蓄積してきたまちづくりの経験やノウハウ、震災の教訓を活かして、地元企業等の海外展開を積極的に支援しています。

平成 26 年度は、**ベトナム国ロンアン省**を対象に自治体国際化協会（CLAIR）のプログラムを活用して、専門職員派遣による研修・現地調査や研修員の受入等を実施しました。

## 3 民間活力（競争性）の導入

水道料金等の未納のお客さまに対する督促業務については、従前より神戸市水道サービス公社と随意契約してきましたが、**初期末納 1 か月間のお客さまに対する督促書投函業務**については競争性を導入することとし、対応を進めました。

## 4 (株)ノーリツとの連携協定締結

神戸市に本社を持つ湯まわり設備機器メーカー(株)ノーリツと「**水道事業の情報発信等に関する連携協定**」を平成 27 年 3 月 30 日に締結し、水道（お風呂）と健康にまつわる情報発信等を推進しています。

（実施行事）

- 水道週間イベント「歩いてジッカン！災害に強い水道づくり」  
（平成 27 年 5 月 31 日 神戸市水の科学博物館）
- 水道技術国際シンポジウム」（平成 27 年 7 月 20 日 神戸国際展示場）

水道週間イベント「お風呂王国」



平成26年度 水道事業会計決算の概要

(1) 経営収支(税抜額)

(単位:億円)

項目	区分	平成26年度 決算 (1)	平成25年度 決算 (2)	対前年度決算		主な増減理由
				差引 (3)=(1)-(2)	伸び率(%) (3)/(2)×100	
収 益	給水収益	300.7	306.2	▲ 5.5	▲ 1.8	有収水量の減
	分担金	4.8	5.1	▲ 0.3	▲ 6.5	対象件数の減
	基金からの繰入金	2.5	0.5	2.0	400.0	基金繰入計画により
	受取利息	1.8	1.6	0.2	11.2	運用資金量の増等
	一般会計繰入金 (阪水分)	0.7	1.9	▲ 1.2	▲ 60.8	「地域の元気臨時交付金」 の減
	その他収益	51.7	19.8	31.9	160.4	長期前受金戻入の増
	合計(A)	362.2 (334.0)	335.1 (335.1)	27.1 (▲ 1.1)	8.1 (▲ 0.3)	
費 用	人件費	60.8	63.6	▲ 2.8	▲ 4.3	支給延べ人数の減等
	受水費	112.7	112.7	0.0	0.0	
	物件費	52.5	52.4	0.1	0.2	
	減価償却費等	93.5	91.5	2.0	2.1	
	支払利息	7.8	8.4	▲ 0.6	▲ 6.5	企業債残高及び平均利率 の減
	繰出金 (阪水分)	0.7	1.9	▲ 1.2	▲ 60.8	「地域の元気臨時交付金」 の減
	その他費用	119.5	2.6	116.9	4,507.8	減損損失・退職給付引当金 の増等
合計(B)	447.5 (325.4)	333.1 (333.1)	114.4 (▲ 7.6)	34.4 (▲ 2.3)		
当年度損益 (C)=(A)-(B)		▲ 85.3 (8.6)	2.0 (2.0)	▲ 87.3 (6.6)	▲ 4,292.0 -	
前年度末累積損益 (D)		43.4	43.4	-	-	
その他の未処分利益 剰余金変動額 (E)		606.4	0.0	-	-	
利益処分(自己資本金組 入、建設改良積立金) (F)		▲ 522.1	▲ 2.0	-	-	
翌年度繰越利益剰余金 (G)=(C)+(D)+(E)+(F)		42.4	43.4	-	-	

※ ( ) は会計制度等変更の影響を除く。伸び率は千円単位で計算

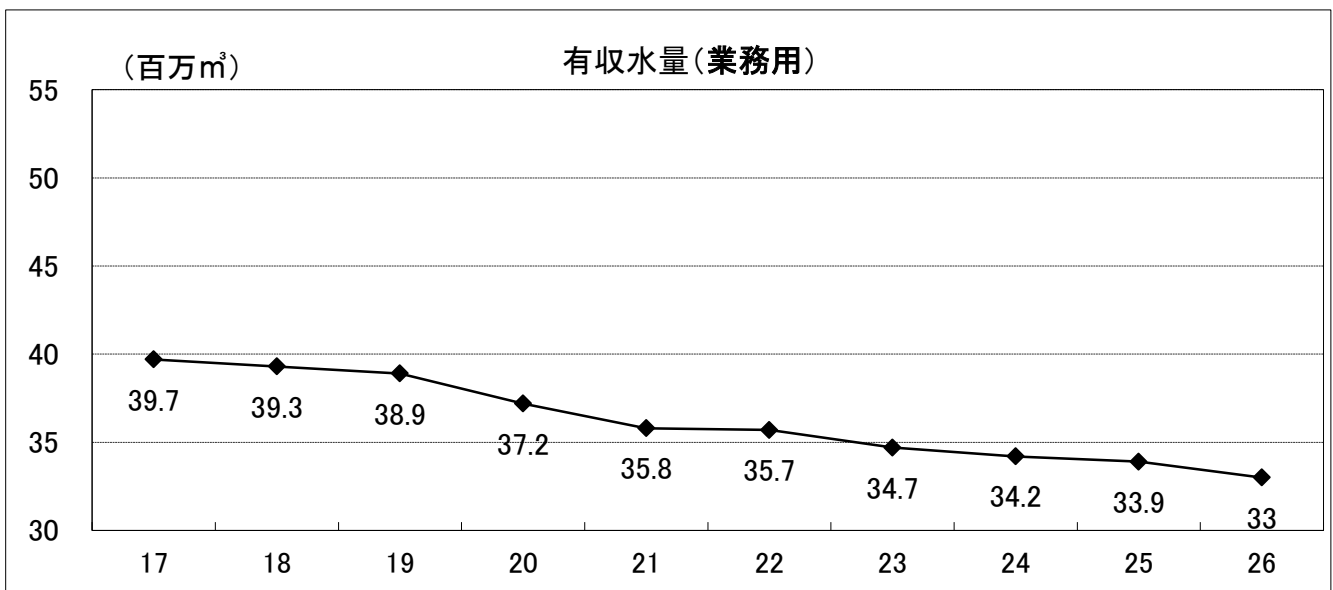
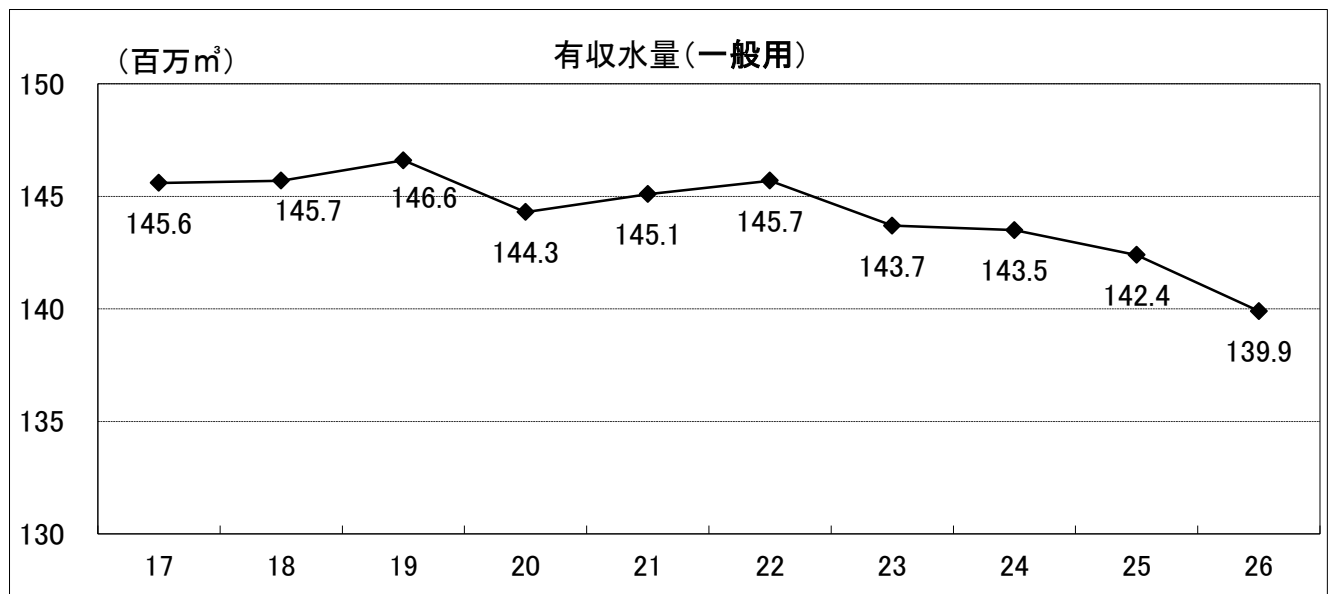
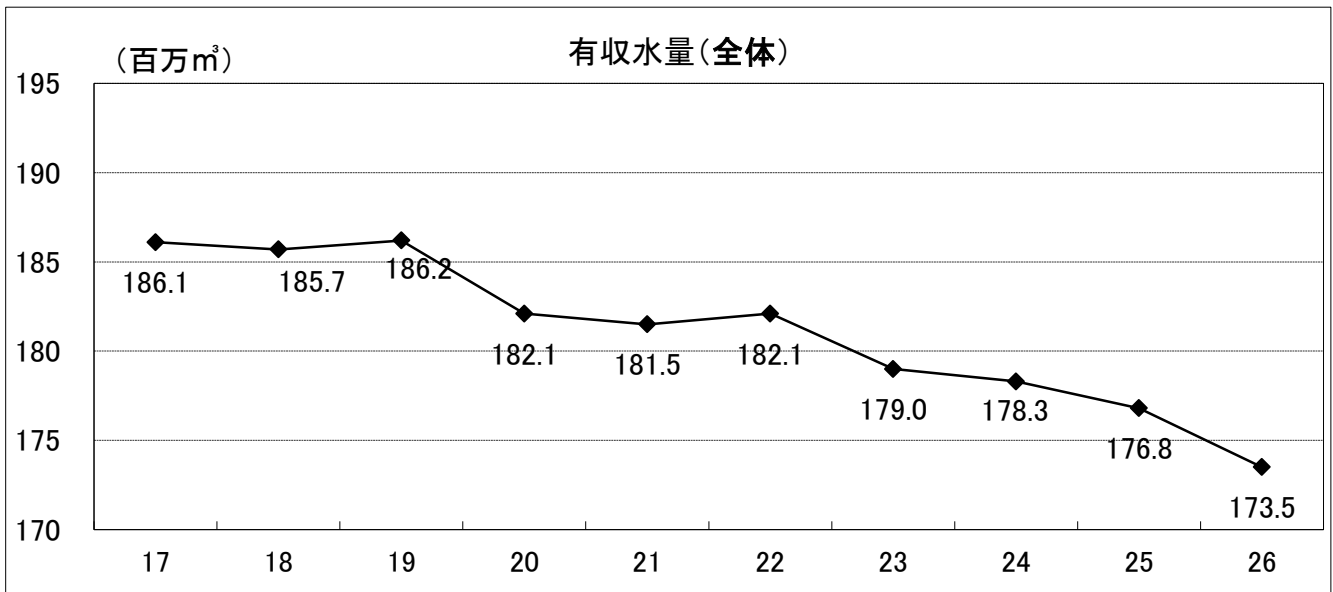
[参 考 1]

経営収支（税抜額）〔平成26年度予算・決算比較〕

（単位：億円）

項目	区分	平成26年度 決算 (1)	平成26年度 当初予算 (2)	予算決算対比	主な増減理由
				差引 (3)=(1)-(2)	
収 益	給水収益	300.7	304.1	▲ 3.4	有収水量の減
	分担金	4.8	4.5	0.3	新規件数の増
	基金からの繰入金	2.5	2.5	0.0	
	受取利息	1.8	1.2	0.6	
	一般会計繰入金 (阪水分)	0.7	0.6	0.1	
	その他収益	51.7	49.9	1.8	
	合計(A)	362.2	362.8	▲ 0.6	
費 用	人件費	60.8	61.4	▲ 0.6	
	受水費	112.7	112.7	0.0	
	物件費	52.5	58.5	▲ 6.0	動力費・修繕費の減等
	減価償却費等	93.5	95.3	▲ 1.8	建設改良工事の減
	支払利息	7.8	7.8	0.0	
	繰出金 (阪水分)	0.7	0.6	0.1	
	その他費用	119.5	123.5	▲ 4.0	
合計(B)	447.5	459.8	▲ 12.3		
当年度損益 (C)=(A)-(B)		▲ 85.3	▲ 97.0	11.7	
前年度末累積損益 (D)		43.4	43.4	—	
その他の未処分利益 剰余金変動額 (E)		606.4	0.0	—	
利益処分(自己資本金組 入、建設改良積立金) (F)		▲ 522.1	0.0	—	
翌年度繰越利益剰余金 (G)=(C)+(D)+(E)+(F)		42.4	▲ 53.6	—	

(2) 業務量の推移



※ 有収水量(全体)には、一般用、業務用のほかに、公衆浴場用等を含んでいる。  
18年度における工業用水道への分水は除いている。

## (3) 資本的収支 (税込額)

(単位：億円)

項目	区分	平成26年度 決算 (1)	平成25年度 決算 (2)	対前年度決算	
				差引 (3)=(1)-(2)	伸び率(%) (3)/(2)×100
収  入	企業債	0.0	0.0	0.0	0.0
	工事負担金	5.5	4.4	1.1	25.8
	国庫補助金	4.4	4.9	▲ 0.5	▲ 11.4
	施設増強負担金	2.4	1.6	0.8	45.7
	基金収入 (基金の運用益)	2.4	2.1	0.3	13.0
	基金からの繰入金	12.6	12.3	0.3	2.3
	一般会計繰入金	10.0	9.9	0.1	0.8
	その他	1.5	1.0	0.5	58.4
	合計(A)	38.8	36.2	2.6	7.0
支  出	建設改良費	80.7	73.2	7.5	10.2
	基幹施設整備工事費	31.4	25.5	5.9	22.8
	配水管整備増強工事費	30.9	32.5	▲ 1.6	▲ 5.0
	開発団地施設工事費等	18.4	15.2	3.2	21.6
	企業債償還金	20.7	21.1	▲ 0.4	▲ 1.9
	基金への積立	14.7	10.2	4.5	45.3
	繰出金	11.3	10.5	0.8	7.1
	その他	0.1	0.0	0.1	100.0
	合計(B)	127.5	115.0	12.5	10.9
	収支差引(A)-(B)	▲ 88.7	▲ 78.8	▲ 9.9	—

※伸び率は千円単位で計算

(注) 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額88.7億円は、損益勘定留保資金等で補った。

[参 考 2]

平成26年度末 神戸市水道事業会計貸借対照表

(単位：百万円)

借 方		貸 方	
<b>資 産 の 部</b>		<b>負 債 の 部</b>	
<b>固 定 資 産 305,149</b>		<b>固 定 負 債 44,053</b>	
有形固定資産	271,947	企業債	33,253
土 地	26,454	引 当 金	8,072
建 物	21,112	受水費高騰対策勘定	2,728
構 築 物	371,802	<b>流 動 負 債 11,381</b>	
機 械 及 び 装 置	53,604	企 業 債	2,113
車 両 運 搬 具	398	未 払 金	4,957
船 舶	16	前 受 金	956
工 具 器 具 及 び 備 品	3,612	引 当 金	437
建 設 仮 勘 定	21,930	その他流動負債等	2,918
減 価 償 却 累 計 額 ▲	226,981	<b>繰 延 収 益 100,550</b>	
無形固定資産	118	長 期 前 受 金	141,906
地 上 権	7	長期前受金収益化累計額	▲ 70,463
施 設 利 用 権	16	建設仮勘定長期前受金	29,107
ソ フ ト ウ ェ ア	95	<b>資 本 の 部</b>	
投 資	33,084	<b>資 本 金 86,803</b>	
投資有価証券	8,489	自 己 資 本 金	86,803
出 資 金	1,009	<b>剰 余 金 89,849</b>	
基 金	21,580	資 本 剰 余 金 28,853	
破 産 更 生 債 権 等	93	受 贈 財 産 評 価 額	9,221
基 金 ▲	93	国 庫 補 助 金	615
そ の 他 投 資	2,006	一 般 会 計 補 助 金	209
<b>流 動 資 産 27,473</b>		工 事 負 担 金	17,990
現 金 預 金	21,985	施 設 増 強 負 担 金 等	818
未 収 金	2,384	<b>利 益 剰 余 金 60,996</b>	
有 価 証 券	1,099	建 設 改 良 積 立 金	4,548
貯 蔵 品	319	未 処 分 利 益 剰 余 金	56,448
前 払 金	530		
その他流動資産等	1,156		
<b>繰 延 勘 定 14</b>			
開 発 費	14		
<b>合 計 332,636</b>		<b>合 計 332,636</b>	

## 「中期経営目標 2015」の進捗状況について

### 1. 「事業目標」及び「施策目標」の進捗状況（平成 26 年度）

施策目標	目標値	26 年度実績
<b>事業目標1 安心:安心しておいしく飲める水をお届けします</b>		
安全でおいしい水の実現	カビ臭から見たおいしい水達成率 毎年度: 75% (※)	26 年度実績: 80%
受水槽及び給水装置内の水質管理の適正化	より積極的に受水槽の適正な管理についての啓発や直結給水の促進を図る。	受水槽の管理に関する啓発資料の送付、アンケート調査の実施 (1,000 件) 直結給水に係る PR の実施
<b>事業目標2 安定:いつでも安定して使える水道を実現します</b>		
緊急貯留システムの整備による応急給水体制の充実	緊急貯留システムの整備箇所数 25 年度目標: 47 箇所	緊急貯留システムの整備完了
配水管の更新・耐震化の計画的推進	配水管の耐震化率 27 年度目標: 36%	26 年度実績: 35.2%
<b>事業目標3 満足度:お客さまの高い満足度を得て信頼を確保します</b>		
お客さまニーズ等の変化に対応したサービスの提供	水道局の取り組みについて満足されているお客さまの割合 67%の達成、維持	26 年度実績: 62.6%
お客さまに応じたきめ細かで効果的な広報の推進	水道局の広報活動について満足されているお客さまの割合 51%の達成、維持	26 年度実績: 44.9%
<b>事業目標4 持続:将来にわたって健全な経営を維持し、持続可能な水道事業を目指します</b>		
時代の変化に伴い生じた課題への対応	社会経済情勢や水需要構造など、水道事業を取り巻く環境の変化に伴い生じた様々な課題への対応を進める。	水道水を地下水等の補給水として利用する水道利用者への対応、新規届出の受理・協定の締結 (32 件) 既存の地下水利用者への制度の啓発活動強化

事業目標5 環境:環境にやさしい水道を目指します

電力使用量及びCO2排出量の削減	27年度目標 電力使用量：5,968万kWh (22年度実績比△6.2%) CO2排出量：18,570t-CO2 (22年度実績比△4.9%)	26年度実績 電力使用量：5,610万kWh (22年度実績比△11.8%) CO2排出量：29,425t-CO2 (22年度実績比+50.7%) (電力会社において火力発電の割合が増え、CO2排出量の算定に用いる「CO2排出係数」が上昇しているため、目標値を上回っている)
------------------	---	--

事業目標6 新たな展開:広い視野と社会に貢献する視点を持って水道事業の新たな展開を目指します

国際貢献・国際化施策の推進	国際貢献の新たな取り組みとして、一連の水循環システム・都市整備等神戸市(外郭団体)が蓄積してきたまちづくりの経験やノウハウ、震災の教訓を活用し、海外展開を目指す地元企業等に対して積極的に協力する。	海外展開に関しての相互協力協定を締結している地元企業への継続的支援
---------------	--	-----------------------------------

※カビ臭から見たおいしい水の達成率：

カビ臭物質(ジェオスミン、2-メチルイソボルネオール)の水質基準値に対する割合を示す業務指標(たとえば、それぞれの最大濃度が、基準値の1/4以下であれば75%を達成できる。また、共に水質基準値になるか、ひとつが水質基準値の2倍になれば0%となる。)

〈参考〉カビ臭物質(ジェオスミン、2-メチルイソボルネオール)の水質基準値に対する割合

$$\frac{\left(1 - \frac{\text{ジェオスミン最大濃度}}{\text{水質基準値}}\right) + \left(1 - \frac{\text{2-メチルイソボルネオール最大濃度}}{\text{水質基準値}}\right)}{2} \times 100$$

注)上記の式で0%以下となる場合は、達成率は0%となる。

2. 財政の状況(平成24年度～平成27年度)

(単位：億円)

区分 \ 年度	24年度決算	25年度決算	26年度決算	27年度
収入	342	335	334	345
うち水道料金	308	306	301	309
支出	338	333	325	344
うち維持管理費	128	124	118	126
うち減価償却費	89	88	87	94
当年度損益	4	2	9	1
累積損益	46	45	52	53